

2021年3月期 決算短信〔I F R S〕（連結）

2021年5月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社プロネクサス
コード番号 7893 URL <https://www.pronexus.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）上野 剛史
問合せ先責任者 （役職名）執行役員社長室長 （氏名）高松 純 TEL 03-5777-3111
定時株主総会開催予定日 2021年6月28日 配当支払開始予定日 2021年6月14日
有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（決算説明動画（録画）配信予定）

（百万円未満四捨五入）

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	24,997	2.3	2,130	△18.1	2,503	△8.3	1,696	△8.5	1,691	△8.4	2,119	14.9
2020年3月期	24,446	5.6	2,600	5.4	2,729	0.5	1,853	0.9	1,846	0.6	1,844	15.3

	基本的1株当たり 当期利益		希薄化後 1株当たり当期利益		親会社所有者帰属持分 当期利益率		資産合計 税引前利益率		売上収益 営業利益率	
	円 銭		円 銭		%		%		%	
2021年3月期	62.87		—		7.4		7.2		8.5	
2020年3月期	68.53		—		8.3		8.4		10.6	

（参考）持分法による投資損益 2021年3月期 80百万円 2020年3月期 73百万円

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率		1株当たり親会社 所有者帰属持分	
	百万円		百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	36,337		23,452		23,423		64.5		877.73	
2020年3月期	33,049		22,506		22,451		67.9		834.02	

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
2021年3月期	3,917		△1,339		△1,660		12,845	
2020年3月期	4,172		△1,716		△2,436		11,911	

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	親会社所有者 帰属持分配当 率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00	808	43.8	3.7
2021年3月期	—	17.00	—	16.00	33.00	885	52.5	3.9
2022年3月期（予想）	—	16.00	—	16.00	32.00		56.2	

（注）2021年3月期第2四半期末配当金17円00銭は、普通配当15円00銭と創業90周年記念配当2円00銭の合計額です。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	14,700	2.2	2,400	△9.5	2,400	△15.0	1,660	△15.3	1,660	△15.1	62.21
通期	25,500	2.0	2,200	3.3	2,200	△12.1	1,520	△10.4	1,520	△10.1	56.96

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	28,716,688株	2020年3月期	30,716,688株
2021年3月期	2,031,321株	2020年3月期	3,797,152株
2021年3月期	26,898,026株	2020年3月期	26,940,547株

（参考）個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	23,785	1.9	2,110	△4.3	2,338	△0.8	1,369	△14.9
2020年3月期	23,334	2.5	2,205	5.7	2,357	△0.3	1,609	△3.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	50.89	—
2020年3月期	59.73	—

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	27,838	21,465	77.1	804.39
2020年3月期	26,671	20,913	78.4	776.88

（参考）自己資本 2021年3月期 21,465百万円 2020年3月期 20,913百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

2021年3月期の決算説明会につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、また現在多くの方が在宅勤務等を実施されていると想定されることから、会場での開催は見合わせ、後日、決算に関する説明動画（録画）の配信を予定しております。決算補足説明資料につきましても、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し.....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当.....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記.....	6
(1) 連結財政状態計算書	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書.....	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結持分変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書.....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① わが国経済の状況

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界規模で拡大した新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、国内外における企業活動や個人消費が制限され、経済活動は大きなマイナス影響を受けました。現状、段階的に経済活動が再開され、企業活動の一部に持ち直しの動きが見られるものの、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

当社事業と関連性の強い国内証券市場においては、このような状況への警戒感から昨年4月の緊急事態宣言時に下落していた日経平均株価は、期初の18,000円台から本年2月には約30年ぶりに一時30,000円の大台まで回復いたしました。

② 業績の概況

1) 売上の概況

当連結会計年度は、国内外の投資家に向けた開示・I R強化の動きが継続し、株主総会招集通知や英文翻訳サービス等の売上が増加いたしました。加えて、ファイナンス・I P O関連製品やW e b制作関連の売上が増加いたしました。これらの増収が、投資信託の新規設定減や前年同期の消費税率改定関連特需の反動減等に伴う金融商品関連製品の減収を補った結果、当連結会計年度の連結売上収益は、前年同期比550百万円増（同2.3%増）の24,997百万円となりました。

<上場会社ディスクロージャー関連>

株主総会招集通知のカラー化による増収に加えて、開示書類作成アウトソーシングサービスの増収も寄与いたしました。また、国内証券市場の株価回復を背景にファイナンス・I P O関連製品の受注規模が拡大したことにより、上場会社ディスクロージャー関連の売上収益は、前年同期比593百万円増（同5.8%増）の10,880百万円となりました。

<上場会社I R関連等>

株主通信の減収に加えて、コロナ禍において対面形式のイベント・セミナー中止等の一部マイナス影響がありました。一方、コーポレートガバナンス・コードへの対応を背景として、英文翻訳サービスの受注が増加したほか、2019年10月1日付で連結子会社化した、W e b制作会社の株式会社レインボー・ジャパンの売上収益も加わった結果、上場会社I R関連等の売上収益は、前年同期比263百万円増（同4.3%増）の6,400百万円となりました。

<金融商品ディスクロージャー関連>

金融商品関連製品の印刷物の受注が、前年同期の消費税率改定に伴うスポット需要の反動により減少いたしました。また、投資信託市場は、一部ファンドの新規設定減や電子化の進展等により、目論見書の受注ボリュームが縮小したほか、資金調達需要の変化を受け外国債券関連製品も減収となりました。これらの結果、金融商品ディスクロージャー関連の売上収益は、前年同期比291百万円減（同4.2%減）の6,629百万円となりました。

<データベース関連>

企業情報データベース、経済・産業情報データベースともに新規開拓の一方で一部解約や単価のダウンがありました。これらの結果、データベース関連の売上収益は、前年同期比15百万円減（同1.3%減）の1,088百万円となりました。

(製品区分別売上収益)

区分	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		増減 (△印減)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
上場会社ディスクロージャー関連	10,286,753	42.1	10,879,556	43.5	592,803	5.8
上場会社I R関連等	6,136,833	25.1	6,399,854	25.6	263,022	4.3
金融商品ディスクロージャー関連	6,919,949	28.3	6,629,012	26.5	△290,937	△4.2
データベース関連	1,102,802	4.5	1,088,152	4.4	△14,650	△1.3
合計	24,446,337	100.0	24,996,575	100.0	550,238	2.3

(注1) 金額は販売価格によっております。

(注2) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2) 利益の概況

当連結会計年度の連結売上収益は、上場会社ディスクロージャー関連及び上場会社 I R 関連等の増収が寄与し、前年同期比550百万円増（同2.3%増）となったものの、売上原価は、制作体制の強化及びサービスの向上に伴う労務費の増加を主因として、前年同期比568百万円増（同3.8%増）となりました。これにより売上原価率は前年同期比1.0ポイント増の、61.7%となりました。この結果、売上総利益は前年同期比17百万円減（同0.2%減）の9,583百万円となりました。また、販売費及び一般管理費については、営業体制強化に伴う人件費増や新型コロナウイルス感染症対策費用、アフターコロナを見据えたDX投資等により、前年同期比100百万円増（同1.4%増）の7,162百万円（販売費及び一般管理費率は前年同期比0.2ポイント減の28.7%）となりました。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響等により、連結子会社の株式会社レインボー・ジャパン及びPRONEXUS VIETNAM CO., LTDの減損損失351百万円をその他の費用に計上したこと等から、営業利益は前年同期比470百万円減（同18.1%減）の2,130百万円となりました。

その他、金融収益は受取配当金等により163百万円、金融費用は9百万円、持分法による投資利益は80百万円、持分法適用関連会社であった株式会社ディスクロージャー・プロの株式を2020年7月に追加取得し、完全子会社にしたことに伴う段階取得に係る差益を139百万円計上した結果、当期利益は前年同期比157百万円減（同8.5%減）の1,696百万円となりました。また、親会社の所有者に帰属する当期利益は前年同期比155百万円減（同8.4%減）の1,691百万円となりました。

なお、2020年8月28日公表の2021年3月期の通期連結業績予想を比較しますと、売上収益及び各利益面において、すべて目標を達成しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,288百万円増加し、36,337百万円となりました。

流動資産は460百万円増加し、18,025百万円となりました。主な要因は、現金及び現金同等物の増加934百万円と、その他の金融資産の減少577百万円等です。非流動資産は2,828百万円増加し、18,312百万円となりました。主な要因は、使用権資産の増加1,808百万円と、その他の金融資産の増加699百万円等です。

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,342百万円増加し、12,884百万円となりました。

流動負債は203百万円増加し、6,304百万円となりました。主な要因は、リース負債の増加72百万円等です。非流動負債は2,139百万円増加し、6,581百万円となりました。主な要因は、リース負債の増加1,844百万円等です。

当連結会計年度末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ946百万円増加し、23,452百万円となりました。主な要因は、親会社の所有者に帰属する当期利益1,691百万円の計上による増加と剰余金の配当による減少861百万円等です。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ934百万円増加（前年同期比7.8%増）し、当連結会計年度末には12,845百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,917百万円（前年同期は4,172百万円の獲得）となりました。収入の主な内訳は、税引前利益2,503百万円に対し、非資金損益項目等の調整を加減した営業取引による収入4,959百万円、利息及び配当金の受取額56百万円であり、支出の主な内訳は、法人所得税の支払額1,090百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,339百万円（前年同期は1,716百万円の使用）となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出448百万円、無形資産の取得による支出1,213百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,660百万円（前年同期は2,436百万円の使用）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額861百万円、リース負債の返済による支出781百万円等であります。

(4) 今後の見通し

(％表示は、対前期増減率)

売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
25,500	2.0	2,200	3.3	2,200	△12.1	1,520	△10.1	56.96

① 売上収益予想の背景・変動要因

次期の連結売上収益は、当連結会計年度比503百万円増の25,500百万円を予想しています。要因として、上場会社ディスクロージャー関連及び上場会社I R関連等を中心とした堅調な受注増を見込んでおります。

なお、当連結会計年度においては、新型コロナウイルス感染症によるマイナス影響は一部製品に限定され、増収要因がこれを上回りました。現段階では、次期においても同様の事業環境を想定しておりますが、感染拡大による企業活動の制約が強まる可能性等、不確定要素があります。

(製品区分別売上収益)

区分	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		次連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		増減 (△印減)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
上場会社ディスクロージャー関連	10,879,556	43.5	11,000,000	43.1	120,444	1.1
上場会社I R関連等	6,399,854	25.6	6,700,000	26.3	300,146	4.7
金融商品ディスクロージャー関連	6,629,012	26.5	6,700,000	26.3	70,988	1.1
データベース関連	1,088,152	4.4	1,100,000	4.3	11,848	1.1
合計	24,996,575	100.0	25,500,000	100.0	503,425	2.0

② 利益予想の背景・変動要因

コスト面においては、受注増及び事業領域拡張に対応する社内体制・人材の強化を進めており、労務費・人件費の増加を見込んでおります。また当連結会計年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策及びアフターコロナを見据えたDX投資を推進いたします。なお、当連結会計年度においては、連結子会社の減損損失や、投資事業組合運用益を中心とした金融収益、株式会社ディスクロージャー・プロの株式の段階取得に係る差益等がありましたが、次期の利益予想においては、それらの増減要因を現段階で想定しておりません。これにより、営業利益は当連結会計年度比70百万円増の2,200百万円、税引前利益は当連結会計年度比303百万円減の2,200百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は当連結会計年度比171百万円減の1,520百万円を見込んでおります。

③ 中期経営計画との関連について

当社は、次期(2022年3月期)を最終年度とする3ヵ年計画「新中期経営計画2021」を推進しておりますが、その数値目標については、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年5月14日に取り下げを行っていたしました。前掲の見通しは、最終年度の数値目標を再設定するものです。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

① 配当について

当社は株主への利益還元を経営の重要課題と認識し、諸施策を実施しています。配当については、安定配当をベースに業績及び経営環境等を総合的に加味した配当の継続を基本方針としております。配当性向は従来基準の40%以上を見直し、50%以上に引き上げることといたしました。

当連結会計年度は、すでに実施済みの第2四半期末配当金17円（普通配当15円・創業90周年記念配当2円の合計）に、期末配当金16円を加えた年間配当金33円を予想しており、配当性向は52.5%となる見通しです。

次期配当については、P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」に記載のとおりであり、安定配当をベースとする基本方針を勘案し、第2四半期末・期末ともに16円、年間32円を予想しています。

② 自社株式取得について

当社は、株主への利益還元と資本効率の向上に資する自社株式取得を重視しています。当連結会計年度においても234千株の自社株式を取得いたしました。これにより配当と当連結会計年度中の自己株式取得を合わせた総還元性向は、69.4%と引き続き高水準にあります。

なお、同趣旨に基づき、2021年2月15日付で2,000千株の自己株式を消却しております。

③ 株主優待について

さらに当社は、Q U Oカードを利用した株主優待制度を実施しており、保有株数と保有年数に応じて優待額が増加する基準を設けております。また、当社株式への投資魅力を高め、より長期にわたり、多くの株式を保有していただくことを目的として、2021年3月31日現在の株主様より新たな保有年数基準（10年以上）を追加いたしました。

保有株数	保有年数				
	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	<新設> 10年以上
100株以上 1,000株未満	500円	1,000円	1,500円	2,000円	3,000円
1,000株以上	1,000円	3,000円	5,000円	7,000円	10,000円

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2020年3月期より、国際会計基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	11,910,898	12,845,107
営業債権及びその他の債権	2,548,657	2,585,575
その他の金融資産	2,310,915	1,733,522
棚卸資産	511,471	573,928
その他の流動資産	283,600	286,949
流動資産合計	17,565,541	18,025,083
非流動資産		
有形固定資産	4,657,122	4,675,332
使用権資産	1,988,261	3,796,143
のれん	304,485	466,875
無形資産	2,246,279	2,530,475
投資不動産	186,322	186,322
持分法で会計処理されている投資	728,142	763,050
その他の金融資産	4,233,973	4,933,152
繰延税金資産	1,078,340	918,943
その他の非流動資産	60,678	41,529
非流動資産合計	15,483,602	18,311,822
資産合計	33,049,144	36,336,904
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	56,672	56,672
リース負債	752,312	824,803
営業債務及びその他の債務	1,434,026	1,531,750
未払法人所得税等	689,136	465,438
契約負債	651,858	674,124
その他の流動負債	2,517,150	2,751,141
流動負債合計	6,101,154	6,303,927
非流動負債		
借入金	8,324	301,652
リース負債	1,262,247	3,106,445
退職給付に係る負債	2,523,384	2,523,647
引当金	188,201	191,390
その他の非流動負債	459,592	457,429
非流動負債合計	4,441,749	6,580,563
負債合計	10,542,902	12,884,490
資本		
資本金	3,058,651	3,058,651
資本剰余金	4,683,596	4,691,776
自己株式	△3,801,143	△2,082,303
その他の資本の構成要素	348,191	721,958
利益剰余金	18,162,035	17,032,541
親会社の所有者に帰属する持分合計	22,451,330	23,422,622
非支配持分	54,911	29,792
資本合計	22,506,241	23,452,414
負債及び資本合計	33,049,144	36,336,904

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上収益	24,446,337	24,996,575
売上原価	△14,846,057	△15,413,739
売上総利益	9,600,279	9,582,836
販売費及び一般管理費	△7,061,475	△7,161,710
その他の収益	72,223	82,220
その他の費用	△10,869	△373,203
営業利益	2,600,158	2,130,143
金融収益	67,527	163,205
金融費用	△10,842	△8,775
持分法による投資利益	72,620	79,721
段階取得に係る再測定による利益	—	139,122
税引前利益	2,729,463	2,503,416
法人所得税費用	△876,222	△807,140
当期利益	1,853,241	1,696,276
当期利益の帰属		
親会社の所有者	1,846,291	1,691,145
非支配持分	6,950	5,131
当期利益	1,853,241	1,696,276
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	68.53	62.87
希薄化後1株当たり当期利益(円)	—	—

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期利益	1,853,241	1,696,276
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて		
公正価値で測定する金融資産	△26,515	352,716
確定給付制度の再測定	19,077	48,919
純損益に振り替えられることのない項目合計	△7,438	401,635
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△2,121	21,087
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△2,121	21,087
税引後その他の包括利益	△9,559	422,722
当期包括利益	1,843,682	2,118,998
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,836,615	2,113,549
非支配持分	7,067	5,449
当期包括利益	1,843,682	2,118,998

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定
2019年4月1日時点の残高	3,058,651	4,683,596	△3,324,251	△12,249	381,514	—
当期利益						
その他の包括利益				△2,121	△26,515	18,960
当期包括利益合計	—	—	—	△2,121	△26,515	18,960
自己株式の取得			△476,892			
配当金						
子会社の支配獲得に伴う変動						
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替					7,563	△18,960
所有者との取引額合計	—	—	△476,892	—	7,563	△18,960
2020年3月31日時点の残高	3,058,651	4,683,596	△3,801,143	△14,370	362,561	—

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	合計
	その他の資本の 構成要素	利益剰余金	合計		
	合計				
2019年4月1日時点の残高	369,265	17,117,366	21,904,626	43,231	21,947,857
当期利益	－	1,846,291	1,846,291	6,950	1,853,241
その他の包括利益	△9,676		△9,676	117	△9,559
当期包括利益合計	△9,676	1,846,291	1,836,615	7,067	1,843,682
自己株式の取得	－		△476,892		△476,892
配当金	－	△813,019	△813,019		△813,019
子会社の支配獲得に伴う変動	－		－	4,613	4,613
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替	△11,397	11,397	－		－
所有者との取引額合計	△11,397	△801,622	△1,289,911	4,613	△1,285,297
2020年3月31日時点の残高	348,191	18,162,035	22,451,330	54,911	22,506,241

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定
2020年4月1日時点の残高	3,058,651	4,683,596	△3,801,143	△14,370	362,561	—
当期利益						
その他の包括利益				21,051	352,716	48,637
当期包括利益合計	—	—	—	21,051	352,716	48,637
自己株式の取得			△289,014			
自己株式の消却			2,007,854			
配当金						
支配継続子会社に対する持分変動		8,180				
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替						△48,637
所有者との取引額合計	—	8,180	1,718,840	—	—	△48,637
2021年3月31日時点の残高	3,058,651	4,691,776	△2,082,303	6,681	715,277	—

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	合計
	その他の資本の 構成要素	利益剰余金	合計		
	合計				
2020年4月1日時点の残高	348,191	18,162,035	22,451,330	54,911	22,506,241
当期利益	－	1,691,145	1,691,145	5,131	1,696,276
その他の包括利益	422,404		422,404	318	422,722
当期包括利益合計	422,404	1,691,145	2,113,549	5,449	2,118,998
自己株式の取得	－		△289,014		△289,014
自己株式の消却	－	△2,007,854	－		－
配当金	－	△861,422	△861,422		△861,422
支配継続子会社に対する持分変動	－		8,180	△30,569	△22,389
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替	△48,637	48,637	－		－
所有者との取引額合計	△48,637	△2,820,639	△1,142,257	△30,569	△1,172,826
2021年3月31日時点の残高	721,958	17,032,541	23,422,622	29,792	23,452,414

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	2,729,463	2,503,416
減価償却費及び償却費	1,829,723	1,962,130
減損損失	—	350,554
金融収益	△67,527	△163,205
金融費用	10,842	8,775
持分法による投資損益 (△は益)	△72,620	△79,721
段階取得に係る再測定による損益 (△は益)	—	△139,122
棚卸資産増減額 (△は増加)	△40,480	△53,943
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△208,164	113,926
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	309,260	124,553
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	133,764	90,091
未払消費税等増減額 (△は減少)	150,954	265,835
その他	△6,479	△24,308
小計	4,768,738	4,958,983
利息及び配当金の受取額	51,112	56,299
利息の支払額	△10,625	△8,323
法人所得税の支払額	△637,008	△1,089,501
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,172,217	3,917,459
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△400,232	△73,003
定期預金の払戻による収入	153,901	556,005
有形固定資産の取得による支出	△346,271	△448,451
無形資産の取得による支出	△1,054,455	△1,213,085
投資の取得による支出	△213,821	△359,700
投資の売却及び償還による収入	14,288	100,000
子会社の支配獲得による収支 (△は支出)	△192,825	△231,157
その他	323,532	330,148
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,715,883	△1,339,242
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△370,566	△6,672
リース負債の返済による支出	△780,281	△781,306
自己株式の取得による支出	△476,892	△289,014
配当金の支払額	△812,782	△860,906
非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△22,389
その他	4,760	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,435,760	△1,660,287
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	20,573	917,929
現金及び現金同等物の期首残高	11,892,304	11,910,898
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,980	16,280
現金及び現金同等物の期末残高	11,910,898	12,845,107

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、ディスクロージャー関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益(千円)	1,846,291	1,691,145
加重平均普通株式数(株)	26,940,547	26,898,026
基本的1株当たり当期利益(円)	68.53	62.87

(注) 希薄化後1株当たり利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。